

平成 28 年度第 4 回
大阪府公立大学法人大阪府立大学評価委員会
議事要旨

- 1 日時 平成 28 年 8 月 25 日（木）午後 2 時 00 分～
- 2 場所 大阪赤十字会館 401 会議室
- 3 出席委員 喜多委員長、桑原委員、篠藤委員、兵庫委員、山崎委員
- 4 議事内容

(1) 平成 27 年度財務諸表及び利益処分について

法人及び府民文化総務課から平成 27 年度における剰余金及び利益処分等について説明があり、前回委員会で法人から説明のあった平成 27 年度財務諸表と併せて、委員による審議が行われた。

⇒財務諸表の承認、利益処分の承認ともに、評価委員会としてはこれらについて異存はないものとする意見書を決定。

(2) 平成 27 事業年度の業務実績の評価について

平成 27 事業年度の業務実績に関する評価結果（たたき台）をもとに、大項目評価、全体評価についての審議が行われ、5 つの大項目すべてについて、A 評価（「計画どおり」進捗している）が妥当であると決定した。また、大項目評価の結果に加え、公立大学法人大阪府立大学の基本的な目標、平成 27 年度の重点的な取り組み等を総合的に評価し、平成 27 事業年度の業務実績については、「全体として年度計画及び中期計画のとおりに進捗している」と決定した。

<主な発言>

- ・国家試験合格率について、高い目標値の達成が維持されていることは評価できる。人材育成プログラムの充実については、今後も継続して取り組まれない。
- ・海外からの留学生の受入れ状況については評価できる。今後は、「大阪府立大学グローバル化戦略」を推進し、学生の海外派遣等の充実にも注力されたい。
- ・優れた人材を確保するためには、女性研究者の支援は重要であり、今後一層必要性が高まると考えられることから、継続的に取り組まれない。
- ・若手教員の採用・育成に注力し、教員の年齢分布への配慮や適正配置の維持を図るなど、組織の活性化に取り組まれることを期待する。

(3) 中期目標期間終了時の検討に係る意見について

前回委員会での議論を踏まえ作成した意見書（案）について審議し、変更すべき文言について確認を行った。

<主な発言>

- ・「運営経費」と「経常経費」という文言が混在しているため「経常経費」に統一する。
- ・教育と研究の質の向上、外部資金の獲得など自己収入の拡充といったことには、教員だけではなく事務職員のカも必要であることから、「相応の教員と組織体制が必要」とあるのを、「相応の教職員と法人組織体制が必要」とする。

(4) 次期中期目標について

評価委員会が次期中期目標に盛り込んで欲しいとしている事項についてはすべて、第3期中期目標（素案）に盛り込まれている旨、府民文化総務から説明があり、委員会としてこれを確認した。

以上